

平成27年度

事業報告書

自；平成27年(2015年)4月1日

至；平成28年(2016年)2月29日

公益財団法人

日本高等学校野球連盟

## I. 事業の状況

### 1. 高等学校野球の普及、振興、指導及び監督

- (1) 年度内に評議員会を1回、理事会を6回、それぞれ開催して案件の審議、決定を行いました。また毎月定例として業務運営委員会を開催（12月を除く）して当面の諸案件について協議、連盟運営の円滑化を図りました。
- (2) 年度内に各種委員会（総務、財務、審判規則、選手権大会運営、選抜大会運営、軟式部、技術・振興、特待生問題研究）を必要に応じて随時開催し、諸問題の検討を行い、高等学校野球の健全な育成、発達に努めました。また、審議委員会を開催し（全体委員会を年6回、小委員会を週1回計39回）、不祥事件に対する指導を行うとともに、不祥事件発生防止の重点目標を3項目（指導者の部内暴力、部員のいじめ行為の絶滅、インターネットや携帯電話のメールによる迷惑行為の防止）を挙げて、諸会議や通達で指導徹底を行いました。
- (3) 年度内に各都道府県高等学校野球連盟会長会議を1回、同理事長会議を1回それぞれ開催し、加盟団体との連絡と諸問題の伝達、徹底を計りました。
- (4) 本年度も『大会参加者資格規定』を定め、各都道府県連盟に通達し、加盟校への指導を要請しました。
- (5) 各種表彰（日本学生野球協会優秀選手表彰、育成功労賞表彰）を行いました。
- (6) 高等学校野球の普及、振興のため、部員不足による連合チームの大会参加を認めることとしました。

### 2. 高等学校野球大会その他の試合の開催及び協力

#### (1) 第87回選抜高等学校野球大会

毎日新聞社と共催で平成27年3月21日（土）から4月1日（水）までの12日間（休養日1日含む）、阪神甲子園球場で開催、平成27年1月23日（金）に開かれた選考委員会で選考された32校が参加し無事盛況のうちに終了、敦賀気比高等学校（福井）が初優勝を果たしました。準優勝は東海大学付属第四高等学校（北海道）。

#### (2) 第97回全国高等学校野球選手権大会

朝日新聞社と共催で平成27年8月6日（木）から20日（木）までの15日間（休養日1日含む）、阪神甲子園球場で49校が出場して開催した。東海大学付属相模高等学校（神奈川）が45年ぶり2回目の優勝を果たしました。準優勝は仙台育英学園高等学校（宮城）。

(3) 第60回全国高等学校軟式野球選手権大会

全日本軟式野球連盟、朝日新聞社、毎日新聞社の後援を得て、平成27年8月22日(土)から26日(水)までの5日間(準決勝1試合タイブレーク制適用)、兵庫県の明石トーカロ球場と高砂市野球場の2球場で開催しました。参加校は全国16地区から各1校ずつ計16校。作新学院高等学校(北関東・栃木)が6年ぶり9回目の優勝(過去最多)を果たしました。準優勝は秋田県立能代高等学校(北東北・秋田)。

(4) 第70回国民体育大会・高等学校野球競技

和歌山県で硬式の部、軟式の部ともに平成27年9月27日(日)から30日(水)までの4日間でそれぞれ開催。

硬式の部は、和歌山市の県営紀三井寺公園野球場で12校が参加。東海大学付属相模高等学校(神奈川)が初優勝を果たしました。準優勝は中京大学附属中京高等学校(愛知)。

軟式の部は、新宮市のくろしおスタジアムならびに串本町のサン・ナンタンランド野球場で10校が参加。作新学院高等学校(栃木)が4年ぶり8回目の優勝を果たしました。準優勝は大分県立津久見高等学校(大分)。

(5) 春季地区大会

各都道府県高等学校野球連盟の協力により、北海道、東北(福島)、関東(山梨)、北信越(長野)、東海(静岡)、近畿(滋賀)、中国(岡山)、四国(愛媛)、九州(佐賀)の全国9地区で平成27年4月中旬から6月上旬にかけて開催しました。

(6) 秋季地区大会

各都道府県高等学校野球連盟の協力により、北海道(旭川※初開催)、東北(青森)、関東(埼玉)、東京、北信越(富山)、東海(岐阜)、近畿(滋賀)、中国(島根)、四国(徳島)、九州(鹿児島)の全国10地区で平成27年10月上旬から11月上旬にかけて開催しました。

(7) 第46回治神宮野球大会・高等学校の部

平成27年11月13日(金)から17日(火)までの5日間、明治神宮野球場で開催。高等学校の部は、秋季地区大会の優勝校10校が参加し、香川県立高松商業高等学校(香川)が初優勝を達成しました。

3. 高等学校野球に関する調査及び研究

- (1) 平成27年5月末現在の硬式、軟式それぞれの加盟校数、部員数調査を今年も実施しました。集計結果は硬式が168,898人(1,414人減)で2年ぶりの減少、軟式が10,307人(228人減)で2年連続の減少。また、加盟校数は硬式が昨年から9校減の4,021校、軟式が6校減の454校。

#### 4. 高等学校野球選手、部員等のスポーツ外傷予防及び健康増進

- (1) 年度内に開催の第87回選抜大会と第97回選手権大会に参加した投手全員を対象に、大会前に肩、肘の関節機能検査を実施、スポーツ障害の予防に努めました。検査結果の概要は次の通り。

	(87回選抜)	(97回選手権)
検査受診者数	97人	161人
	肩・肘	肩・肘
X線所見・肘（剥離骨折）	なし 16人	なし 27人
同・肘（遊離体）	なし なし	なし なし
	肩・肘	肩・肘
医師の診断	軽度の炎症	15人 18人
	中程度の炎症	4人 4人
	重い炎症	1人 1人

以上の結果、大会規定による投球禁止適用者はいなかった。

#### 5. 高等学校野球に関する講習会・研修会の開催

##### (1) 新任理事長研修会

平成27年度新たに就任した都道府県連盟理事長9人(青森、山梨、千葉、神奈川、新潟、岐阜、長崎、熊本、宮崎、鹿児島)を対象に、平成27年5月25日(月)、26日(火)の2日間、中沢佐伯記念野球会館で研修会を開催しました。

##### (2) 審判講習会

第55回全国審判講習会を平成27年4月25日(土)、26日(日)の両日開催。実技は阪神甲子園球場、座学は兵庫県立総合体育館で実施。各都道府県から参加した受講者48人(各都道府県1人、北海道は2人)を対象にルール研修や実技指導を行いました。

また、北海道をはじめ9地区の地区別審判講習会に講師を派遣、地方審判の技術向上に努めました。

さらに、都道府県連盟審判との連携強化、審判技術の向上と正しい指導方法の習得を目的とした5回目の「高校野球 Umpire Coaching Clinic」を平成28年2月19日(金)から21日(日)までの3日間、前年の選抜大会ならびに選手権大会に審判委員を派遣した都道府県連盟からの推薦者15人を対象に実技及び座学研修を行った。

その他に、中学・少年野球育成事業の一環として、17回目の少年野球合同審判研修会を平成28年2月6日(土)、7日(日)に開催、少年野球3団体所属の審判45人を対象に審判技術の統一と向上を図りました。

##### (3) 指導者研修会

都道府県連盟主催の加盟校指導者研修会に講師を派遣しました。

##### (4) 指導者育成プログラム「高校野球・甲子園塾」

高校野球のよき指導者となるために、教員在籍10年未満の指導者を対象に2

回開催しました〔第1回；平成27年11月20日(金)から22日(日)、第2回；平成27年12月4日(金)から6日(日)のそれぞれ3日間〕。各回27人が参加して、近府県加盟校の協力を得て、グラウンドでの実技研修ならびに中沢佐伯記念野球会館での座学研修を行いました。

(5) プロ野球現役選手によるシンポジウム「夢の向こうに」

日本野球機構、日本プロ野球選手会の協力を得て、1ヵ所で開催しました。開催結果は次のとおり。

平成27年12月5日(日) 秋田県 大館市・大館樹海ドーム

受講者；加盟校数32校、部員272人

6. 高等学校野球を通じた国際交流及び国際相互理解の推進

年度内に次の国際大会に参加し、野球を通じて諸外国と親善、友好を深めるとともに、相互の競技力向上に努めました。

(1) 第27回WBSC U-18 ベースボールワールドカップ(日本初開催)

平成27年8月28日(金)から9月6日(日)までの10日間、日本(大阪府ならびに兵庫県)で開催された第27回WBSC U-18 ベースボールワールドカップに高校日本代表チームが出場しました。参加は12か国・地域。

◇最終順位

第1位 米国、第2位 日本、第3位 韓国、第4位 オーストラリア

第5位 キューバ、第6位 カナダ、第7位 メキシコ、

第8位 チャイニーズ・タイペイ、第9位 ブラジル、第10位 イタリア、

第11位 チェコ、第12位 南アフリカ

7. 高等学校野球に関する関係諸団体との協力及び提携

(1) 野球各団体との提携

全日本野球協会、日本野球連盟、日本学生野球協会、全日本大学野球連盟と定期的に打ち合わせを開催。

(2) 学生野球資格回復に関する協議会

日本学生野球協会と日本野球機構ならびに日本プロ野球選手会が元プロ野球選手の学生野球資格回復について検討する学生野球資格回復に関する協議会に参画しました。

以 上